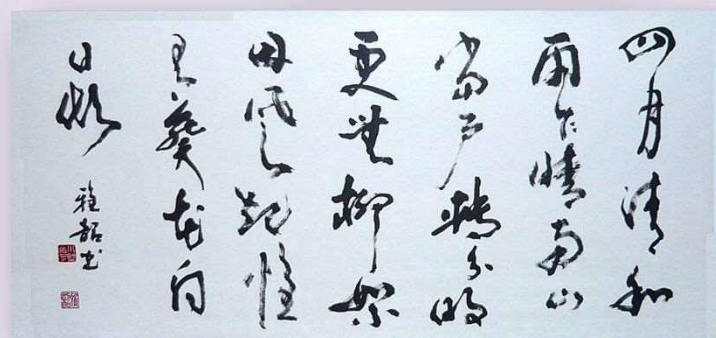
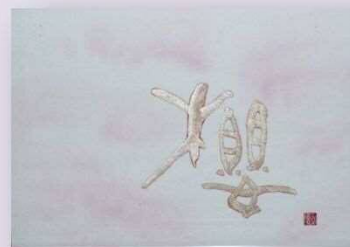
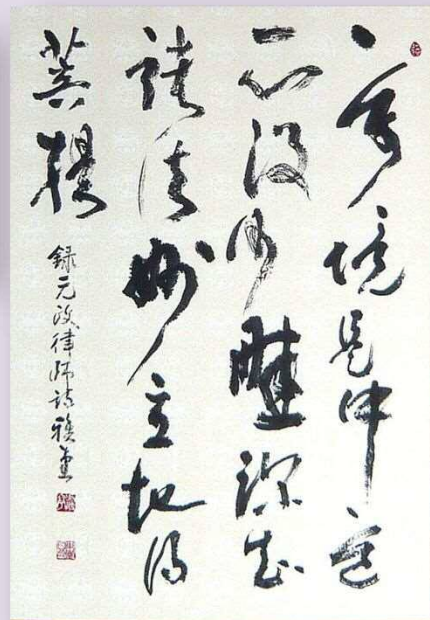
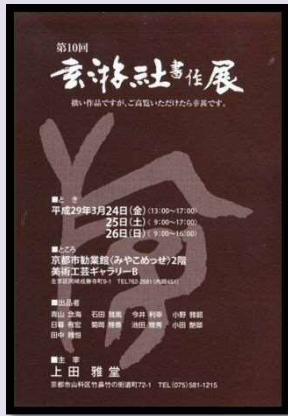




有住此說法

有宏謹書

清 恢

孫有宏

福

三五夜中新月色二
千言外有人心

程德文

秋公破之多風生將夜
月明樓月在湖

程德文

疎氣橫斜一水清淺
晴色滿動月去矣

程有

怪光一絳下蒼昊忽然地震天日昏一剎間陵台變城市臺榭遍灰塵此日死者三十萬生者被創悲且呻死生茫茫不可識妻亦其夫兒覓親阿鼻叫喚動天地陌頭血流屍橫陳殉難殞命非戰士被害總是無辜民廣陵慘禍未曾有胡軍更聽崎陽津二都荒涼難大盡壞牆墜瓦不見人如是殘虐天所怒驕暴更過狼需秦君不聞啾啾鬼哭夜達旦發郭而暗飛青燐

錄土庫街面原爆行記 孫有宏書 沙縣念師



第十回 玄游社書作展

○会期 平成二十九年三月二十四日(金)～二十六日(日)
○会場 京都市勤業館(みやこめっせ)二階 美術工芸ギャラリーB

【主宰】

上田 雅堂

順

(甲骨文)

優

物外に遊ぶ

(唐書)

露堂々

(從容錄)

到り得 歸り来たりて 別事なし

(蘇軾)

萬境 是れ中道 一心 町畦を没す

深く諸法の妙を知らば 立地に菩提を得ん

(元政律師)

【出品者】

石田 雅風

夜深く人静まる 独り坐して心を観る

(葉根譚)

小野 雅詔

四月清和、雨乍ち晴る 南山、戸に当たつて転た分明
更に柳絮の風に因つて起る無く
惟だ葵花の日に向かつて傾く有り

(司馬光)

射石為虎

(漢書)

桜

青山 念海

怪光一錢 蒼冥より下り 忽然地震ひ 天日昏し
一利那の間 陵谷変じ 城市 臺榭灰燼に歸す
此の日死する者三十萬 生者は剣を被り
悲しみ 且つ呻く 生死茫茫識る可からず
妻は其の夫を求め 兒は親を覓む
阿鼻叫喚 天地を動もし 陌頭血流れ 屍横陳す
殉難 命を殞すは戰士に非ず 害を被るは總じて是れ無辜の民
廣陵の慘禍 未だ曾て有らざるに 胡軍更に襲ふ 崎陽の津
二都 荒涼として鶏犬盡き 壞墻墜瓦人を見ず
是くの如き残は天の怒る所 驕暴 更に過ぐ 狼虎の衆
君聞かずや 啾啾たる鬼哭 夜旦に達し
殘郭 雨暗くして 青燐を飛ばすを (土屋竹雨 原爆行)

緑

常住此說法

(法華經)

清恬

(文徵明)

《仁和婦人会書道部有志》

池田 雅秀

疎影 横斜 水 清淺

暗香 浮動 月 黃昏

(林逋)

小田 艶翠

秋山 夢を破て 風 樹に生じ

夜水 樓を明かにして 月 湖に在り

(文徵明)

田中 雅恒

三五夜中 新月の月

二千里外 故人の心

(白居易)

玄游社 〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹の街道町七二

上田 雅堂

TEL 075-681-1215 FAX 075-695-3817